

「田んぼの学校」実施報告書

2020年度

野川で遊ぶまちづくりの会

目次

1. 企画書	1
2. 実施計画・報告書	4
3. 会計報告	3 5
4. おたより	3 7
5. 参加者名簿	7 1
6. 参加者感想文集	7 3
7. 総括報告	8 5
付録. 調査記録	8 7

1. 企画書

「田んぼの学校」

企画名：佐須の里山で持続可能社会を实践！！

野川で遊ぶまちづくりの会

都会の谷戸と湧き水の小川

東京の区部に隣接する調布市には多摩川の支流である野川が流れています。野川は府中崖線の湧き水を集めて流れる都会では貴重な清流です。その野川に府中崖線の谷戸から湧き出る水を源流とする小川（一部コンクリートによる用水路）があります。昔から、谷戸から野川までの川沿いに田んぼがありました。今でも田んぼを続ける農家があり、谷戸には雑木林があり、ホテルも飛ぶ都会では信じられないような環境が残っています。しかしながら、田んぼも減りつつあり、雑木林も手入れがされず、このままでは、この貴重な環境がなくなってしまう。

田んぼで遊び、学ぼう

私たちの会では、会の名前にあるとおり、野川で遊びながら、野川を子供達が遊べる（泳げる）川にするために、まちづくりの提言をしていこうという趣旨で活動（1991年2月発足、ホームページ：<http://nogawa-tanbo.jp/>）しています。

野川の支流である小川（通称佐須用水）の清掃と生き物観察会をしているとき、会員の一人が田んぼをやらないかとおつづやいた一言がこの地で田んぼをやるきっかけになりました。

何事も実践（遊ぶこと）からという私たちの活動にはぴったりの課題でした。野川のいのちはこの湧き水です。この湧き水がまた多くのいのちを育てているということ、体感できる田んぼはまさしく「田んぼの学校」でした。幸い、近くの農家に友人がおり、援農という形で、田んぼを始めることができました。それから28年、会員を中心に田んぼをやってきて、自分達だけでなんとかできるという自信がつくところまで来ました。

昨年も同様の企画で後援をいただき、事業を実施することができました。本年も田んぼを調布に残したいという私たちの想いで「田んぼの学校」を継続する所存です。

調布市も深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画を策定し、この地域で田んぼや、畑など里山の風景を保全するために大きな前進をしました。

私たちの思いもこの計画の推進を願っており、ともにこの地域を保全するため、またよりよくするため、市民の方々に広く知っていただくために親子（子供は小中学生）参加者、田んぼの保全事業の後継者育成を目指した参加者を公募し、広く市民に理解していただくことを企画いたします。

「野川で遊ぶまちづくりの会」
「田んぼの学校」2020年度日程表

予定					実施				
時限	日付	曜日	開始時刻	終了時刻	日付	作業・行事	課題	目的	備考
1	4月19日	日	10:00	15:00	中止	◎「田んぼの学校」開校式◎ 説明会	田んぼの学校とは？	当会の活動を理解してもらおう。また、今後の心構えなどを話し合う。	
2	4月19日	日			4月19日(日)	種籾準備(水に浸ける)	種って何？ どうして芽が出るの？	種の働きを理解する。	
3	4月25日	土	10:00	11:00	中止	◎田んぼの春の植物観察	田んぼにはどんな植物がある？	田んぼの春を感じてもらおう。	
4	4月25日	土	10:00	15:00	中止	◎苗床作り	丈夫な苗が育つ苗床とは？	苗を育てる場所で、苗の成長に大きな影響がある。苗が順調に成長するための準備を十分ににする。	
5	4月26日	日	10:00	12:00	中止	◎用水路清掃 ◎生き物観察	用水路には何がいます？ 用水路の役割は何？	地域と用水路(佐須用水)の関わりを考える。なぜ、用水路にゴミを捨てるのか。	
6	4月26日	日	13:00	15:00	中止	◎種まき	種籾の不思議にせまる。種とは？	苗半作という言葉があり、昔から苗作りが大切であることをあらわしていた。	
7	5月10日	日	10:00	12:00	中止	◎堆肥入れ ◎荒起こし ◎畦草刈り ◎くろつけ準備	堆肥の養分は何？ 田んぼの荒起こしをしているとなぜか鳥がやってくる？	雑木林から落ち葉を集め、鶏糞や糠、藁などで堆肥を作る有機農法は昔から普通に農家で行われたことを理解する。化学肥料との違いは何かを考える。	
9	6月7日	日	10:00	13:00	6月7日(日)	◎くろつけ	くろつけは何のため？	くろつけは水漏れを防ぐ知恵である。今ではコンクリートなどで整備された田んぼがあるが、なにもなければ知恵が働くと言うことを学ぶ。	
10	6月13日	土	10:00	15:00	6月13日(土)	◎苗取り ◎しろかき	しろかきは何のため？	くろつけが入れ物の縁とすると、しろかきは入れ物の底からの水漏れを防ぐ知恵である。昔から田んぼにしてきたところは底が粘土状になっている。	
11	6月14日	日	10:00	13:00	6月14日(日)	田植え	丈夫に育て！	米作りで田植えは昔から村総出で行う大きなイベントであった。昔も今も神様に祈る気持ちは同じである。人ができる主なことはここで終わると言うこともある。	
12	6月14日	日	18:00	20:00	中止	ホテル鑑賞会	ホテルはどこに棲む？	ホテルの生育できる環境を理解する。	
13	6月28日	日	10:00	11:00	6月27日(土)	補植			
13	7月5日	日	10:00	13:00	7月5日(日)	◎一番草(草取り、根掻き) ◎畦草刈り ◎田んぼの生き物観察	田んぼに何がいます？	オタマジャクシ、ミジンコなど生き物でいっぱいになる田んぼでなにが起こっているか考える。	
14	7月24日	金	9:00	12:00	中止	夏祭り準備			
15	7月24日	金	13:00	21:00	中止	柏野夏祭り参加(焼き鳥)	地域との係わりを図る。	地域の祭りに参加し、交流を図る。	
16	7月25日	土	13:00	21:00	中止	柏野夏祭り参加(焼き鳥)	地域との係わりを図る。	地域の祭りに参加し、交流を図る。	
17	7月26日	日	9:00	12:00	中止	夏祭り片付け			

「野川で遊ぶまちづくりの会」
「田んぼの学校」2020年度日程表

予定					実施					
時限	日付	曜日	開始時刻	終了時刻	日付	作業・行事	課題	目的	備考	
18	8月30日	日	10:00	12:00	8月30日(日)	カカシ作り	カカシって何してるの？	稲の穂に付いた糶をねらって鳥が来る。人も鳥も生きていることを考える。		
19	9月27日	日	10:00	13:00	10月4日(日)	◎ハザ掛け準備 ◎稲刈り ◎レンゲ種まき	刈った稲を干すのはなぜ？	稲を干すのはなぜなのか考える。		
20	10月4日	日	10:00	13:00		◎稲刈り(予備日)	刈った稲を干すのはなぜ？	稲を干すのはなぜなのか考える。		
21	10月11日	日	10:00	13:00	10月25日(日)	脱穀	実の採集方法とは？	稲穂から種籾をとる。		
22	11月8日	日	10:00	12:00	11月8日(日)	籾摺り	もみ殻はどうやってとるのか？	玄米にする。		
23	11月15日	日	10:00	12:00	11月15日(日)	精米	玄米、胚芽米、精米の違いは何？	一粒の米に託されたものを考える。		
24	11月23日	月	8:30	15:00	中止	収穫祭(餅つき、豚汁)	お米を作ったのは誰？	お米作りを通して、人と自然の役割を考える。		
25	12月6日	日	9:00	16:00	12月20日(日)	親子炭焼きディキャンプ	雑木林の役割を考える。里山の雑木林はどのようなものか？	◎炭焼きの実践を花炭焼きで体験し、雑木林の役割を考える。 ◎火起こし体験 ◎しめ縄作り		
26	12月20日	日	10:00	12:00	12月13日(日)	落ち葉拾い(堆肥作り)	雑木林って何？	雑木林の役割を考える。		
27	1月9日	土	11:00	13:00	中止	佐須地区どんど焼き	どんど焼きってなに？	地域に根づいている行事に関心を持ち、生活との関わりを学ぶ。		
28	1月10日	日	10:00	12:00	中止	堆肥切り返し	土づくりは農業の基本。人類がどのように土を作ってきたかを学ぶ。	堆肥発酵促進		
30	2月7日	日	10:00	12:00		堆肥切り返し	土づくりは農業の基本。人類がどのように土を作ってきたかを学ぶ。	堆肥発酵促進		
31	2月7日	日	13:00	15:00		縄織い、草鞋づくり	昔の人は稲藁でさまざまな生活に必要なものを作っていました。そのひとつが縄です。	稲藁を使って縄を織うことを通して先人の知恵を学ぶ。		
32	3月7日	日	10:00	13:00		「田んぼの学校」卒業式(反省会)	米づくりを終えて	この1年で考えたこと、学んだことを確認する。		

2. 実施計画・報告書

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	4月19日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	◎「田んぼの学校」開校式◎説明会					
課題:	田んぼの学校とは？					
目的:	当会の活動を理解してもらう。また、今後の心構えなどを話し合う。					
内容:	参加者顔合わせ(自己紹介)、年間予定説明、名簿作成、質疑応答。					
要領:	<ul style="list-style-type: none"> ●開会の挨拶 ●説明会(当会の概要、年間日程、援農) ●質疑応答 ●参加確認(多数の場合、抽選) 					
準備:	●あくろすホール(1, 2)					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻				終了時刻	
	実施内容:会場に集合して行うことは中止。メールで書類送付して代行。					

留意事項:	-----					

備考:						

プログラムマニュアル					
プログラム名称:		田んぼの学校			
実施予定日	4月19日	日	開始時刻		終了時刻
実施日	4月19日	日	開始時刻		終了時刻
作業:	種籾準備(水に浸ける)				
課題:	種って何? どうして芽が出るの?				
目的:	種の働きを理解する。				
内容:	種籾を選別し、発芽させる。				
要領:	●最初に薄い食塩水(新鮮な卵が浮く程度)に種籾をつけて、浮いた種籾を選り分ける(苗床の余ったところで蒔いてみるのもいい)。●一度洗って、きれいな水に浸ける。酸素を必要とするので1日に一回は水を取りかえる。●発芽したら、冷蔵保存(5から10℃)する。●種蒔の前日に発芽していない場合、風呂の残り湯(30℃以下)に				
準備:	●参加者に一握りずつ分けるもち米の種籾を用意する●				
用具:					
服装・装備:					
担当者:					
実施記録:	指導担当者名:				
	参加者名:				
	開始時刻		終了時刻		
	実施内容:種籾を郵送して実施。				
	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----				
留意事項:	----- ----- -----				
	----- ----- -----				
	----- ----- -----				
備考:					

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	4月25日	土	開始時刻	10時00分	終了時刻	11時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	◎田んぼの春の植物観察					
課題:	田んぼにはどんな植物がある？					
目的:	田んぼの春を感じてもらう。					
内容:	田んぼの野草観察を行う。					
要領:	<ul style="list-style-type: none"> ●田んぼの見学 ●田んぼの野草観察 					
準備:	講師: 石森さん					
用具:						
服装・装備:						
担当者:	講師: 石森氏					
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻				終了時刻	
	実施内容: 田んぼの植物調査は実施					

留意事項:	-----					

備考:						

プログラムマニュアル												
プログラム名称:	田んぼの学校											
実施予定日	4月25日	土	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分						
実施日	中止	中止	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分						
作業:	◎苗床作り											
課題:	丈夫な苗が育つ苗床とは？											
目的:	苗を育てる場所で、苗の成長に大きな影響がある。苗が順調に成長するための準備を十分に作る。											
内容:	●苗を育てるための苗床を作る。											
要領:	●田んぼの南側に幅1.2m、長さ12mくらいの広さの短冊畝つくる。土の塊は種籾より小さくなるように、大きなものを手ですりつぶす。●高さは他と同じにする。高くすると、乾燥しやすくなるため。●畝の両脇は7cmくらいの深さで水路を作り水を入れる。											
準備:	●農協で100mのネットを購入する。●湿った土では土が固まりやすいので、乾燥した時でないと苗床づくりはできない。天候によっては日程を変更する。●ただし、代掻きした苗床に種を蒔く方法もある。(直播きに近い)											
用具:												
服装・装備:												
担当者:												
実施記録:	指導担当者名:											
	参加者名:											
	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分								
	実施内容:											
	緊急事態宣言中につき、スタッフのみで実施											
												
							留意事項:					
備考:												

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	4月26日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
実施日	中止	中止	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	◎用水路清掃 ◎生き物観察					
課題:	用水路には何がいます？ 用水路の役割は何？					
目的:	地域と用水路(佐須用水)の関わりを考える。なぜ、用水路にゴミを捨てるのか。					
内容:	●佐須街道から野川までの佐須用水(本流)のゴミ拾いをする●同じところで、水棲動物を捕獲して観察会を行う。					
要領:	●用水路に入り、ゴミ拾いをする。●ゴミは分別する。●空缶の中にはザリガニがいるので、捕獲する。●ゴミはリヤカーで集め、児童館裏に置かせてもらう。					
準備:	●クリーンセンター(ごみ対策課)に届け出、佐須児童館に連絡をする。					
用具:	●ゴミ袋、リヤカー、軍手●水槽、水棲動物用捕獲網					
服装・装備:						
担当者:	講師:石川氏					
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分		
	実施内容:					
	緊急事態宣言中につき、スタッフのみで実施					
						
	留意事項:					
備考:						

プログラムマニュアル												
プログラム名称:		田んぼの学校										
実施予定日	4月26日	日	開始時刻	13時00分	終了時刻	15時00分						
実施日	中止	中止	開始時刻	10時00分	終了時刻	14時00分						
作業:	◎種まき											
課題:	種籾の不思議にせまる。種とは？											
目的:	苗半作という言葉があり、昔から苗作りが大切であることをあらわしていた。											
内容:	●種籾を蒔く。											
要領:	●もち米と粳米の種籾を4, 6の割合で、区別(もち米に粳米が混ざるともちにならない)して蒔く。●種籾は重ならない程度に密に蒔く。●薄く(5mmほど)土をかける。●かまぼこ状にネットをかける。											
準備:												
用具:	ネット、ネットフレーム(20本)、ふるい											
服装・装備:												
担当者:												
実施記録:	指導担当者名:											
	参加者名:											
	開始時刻	10時00分	終了時刻	14時00分								
	実施内容:											
	緊急事態宣言中につき、スタッフのみで実施											
												
							留意事項:					
備考:												

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	5月10日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
実施日	中止	中止	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	◎堆肥入れ ◎荒起こし					
課題:	堆肥の養分は何? 田んぼの荒起こしをしているとなぜか鳥がやってくる?					
目的:	雑木林から落ち葉を集め、鶏糞や糠、藁などで堆肥を作る有機農法は昔から普通に農家で行われたことを理解する。化学肥料との違いは何かを考える。					
内容:	●堆肥を田んぼに均等に撒く●撒いた堆肥を耕運機で漉き込む●畦の草刈りをする。●刈った草は田んぼに撒く。●畦の際に水路を作り、水を引く。					
要領:	●水路に堰を作り、田んぼに水を引き入れる●畦の際に水路を作る●畦に泥を塗り付ける分を畦から削る					
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分		
	実施内容:					
	緊急事態宣言中につき、スタッフのみで実施					
						
	留意事項:					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	6月7日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日	6月7日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分
作業:	◎くろつけ					
課題:	くろつけは何のため?					
目的:	くろつけは水漏れを防ぐ知恵である。今ではコンクリートなどで整備された田んぼがあるが、なにもなければ知恵が働くということを学ぶ。					
内容:	●畦に泥を塗りつける。●					
要領:	●取水口から一番遠いところからくろつけをする●水加減をしながら泥をこねて、畦の上部と壁面に5cmくらいの厚さで泥を塗る●くろつけが終わったら畦際の水路に水を引き入れ、くろが乾かないようにする					
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分		
	実施内容:					
	密を避けて、2班に分けて実施。					
						
						
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	6月13日	土	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分
実施日	6月13日	土	開始時刻	10時00分	終了時刻	15時00分
作業:	◎苗取り ◎しろかき					
課題:	しろかきは何のため?					
目的:	くろつけが入れ物の縁とすると、しろかきは入れ物の底からの水漏れを防ぐ知恵である。昔から田んぼにしてきたところは底が粘土状になっている。					
内容:	●苗代から苗を取り、わらで適当な量を束ねる。●取った苗は水に浸けておく。●田んぼに水を十分に入れ、耕運機で代掻きをする。●表面を水平にならす。					
要領:	●結束用のわらは、あらかじめ水にぬらしておく●結わえた苗の束は籠に入れて水に浸けておく●もち米と粳米の苗を絶対に混ぜない。●代掻きが終わる頃、水を止めると高低がわかる					
準備:	●結束用のわら●籠を用意する					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻 10時00分		終了時刻 15時00分			
	実施内容:					
	密を避けながら、実施。					
						
						
	留意事項:					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	6月14日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日	6月14日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	田植え					
課題:	丈夫に育て!					
目的:	米作りで田植えは昔から村総出で行う大きなイベントであった。昔も今も神様に祈る気持ちは同じである。人ができる主なことはここで終わると言うこともある。					
内容:	●田植えをする●南側にもち米を田んぼの四割くらい植える					
要領:	●30cm間隔に印のついた縄(25m)を張り、印のついたところに植える。●縄は25cm間隔ですらしていく。●苗を植える人は、植え終わったら一歩下がって自分の足跡をならす。●水は少な目に張る。					
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分		
	実施内容:					
	密を避けるため、2班に分け、実施。					
						
	留意事項:					
						
備考:						

野川で遊ぶまちづくりの会

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	6月14日	日	開始時刻	18時00分	終了時刻	20時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	ホテル鑑賞会					
課題:	ホテルはどこに棲む？					
目的:	ホテルの生育できる環境を理解する。					
内容:						
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					
	市役所のホテル観賞会中止のため、中止。					

留意事項:						

備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	7月5日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日	7月5日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	◎一番草(草取り、根掻き) ◎畦草刈り					
課題:	田んぼに何がいます?					
目的:	オタマジャクシ、ミジンコなど生き物でいっぱいになる田んぼでなにが起こっているか考える。					
内容:						
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:	講師:石川氏					
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		10時00分	終了時刻		12時00分
	実施内容:					
	密にならないよう注意しながら実施。					
						
						
備考:						

野川で遊ぶまちづくりの会

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	7月24日	金	開始時刻	13時00分	終了時刻	21時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	柏野夏祭り参加(焼き鳥)					
課題:	地域との係わりを図る。					
目的:	地域の祭りに参加し、交流を図る。					
内容:	●2500本の焼き鳥を焼いて、1本120円で販売する。					
要領:	●焼き鳥は冷凍なので、開封して自然解凍する。●発泡ダンボールの箱で保存する。●タレは焼いた後1回だけ付ける●					
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					
	夏祭りが中止。					

留意事項:	-----					

備考:						

野川で遊ぶまちづくりの会

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	7月25日	土	開始時刻	13時00分	終了時刻	21時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	柏野夏祭り参加(焼き鳥)					
課題:	地域との係わりを図る。					
目的:	地域の祭りに参加し、交流を図る。					
内容:	●2500本の焼き鳥を焼いて、1本120円で販売する。					
要領:	●焼き鳥は冷凍なので、開封して自然解凍する。●発泡ダンボールの箱で保存する。●タレは焼いた後1回だけ付ける●					
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					
	夏祭りが中止。					

留意事項:						

備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:						
実施予定日	7月26日	日	開始時刻	9時00分	終了時刻	12時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	夏祭り片付け					
課題:						
目的:						
内容:						
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:	柏野夏祭り(片づけ)					
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻				終了時刻	
	実施内容:					
	夏祭りが中止。					

留意事項:						

備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	8月30日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
実施日	8月30日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	16時00分
作業:	カカシ作り					
課題:	カカシって何してるの？					
目的:	稲の穂に付いた糶をねらって鳥が来る。人も鳥も生きていることを考える。					
内容:						
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	16時00分		
	実施内容:					
	2時間、4組に分けて実施。					
						
						
	留意事項:					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	9月27日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日	10月4日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	14時00分
作業:	◎ハザ掛け準備 ◎稲刈り					
課題:	刈った稲を干すのはなぜ？					
目的:	稲を干すのはなぜなのか考える。					
内容:	●ハザ掛けをつくる●稲刈りはもち米から先にする●うるちと混ざらないように注意する。					
要領:	●ハザ掛けの足場を先に刈る●足は垂木3本1組として三脚を作る●三脚3組で1列とし、4列作る●梁の竹は細ければ2本組にする					
準備:	●足になる垂木、3本1組、12組分●梁にする竹(10m)10本くらい●網掛け用竹棒(3m)15本くらい●鳥除け網40mくらい●荒縄(太)1巻●結束用稲わら					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	14時00分		
	実施内容:					
	3班に分けて実施。					
						
	留意事項:					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	10月4日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日			開始時刻		終了時刻	
作業:	◎稲刈り(予備日)					
課題:	刈った稲を干すのはなぜ？					
目的:	稲を干すのはなぜなのか考える。					
内容:	鳥除けの網を張る。					
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					

留意事項:	-----					

備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:	田んぼの学校					
実施予定日	10月11日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日	10月25日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	脱穀					
課題:	実の採集方法とは？					
目的:	稲穂から種籾をとる。					
内容:	●稲穂から種籾を取る					
要領:						
準備:	佐須地区の共同脱穀機(自走式)を借り、田んぼへ移動する。					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		10時00分	終了時刻		12時00分
	実施内容:					
	2班に分け実施。					
						
	留意事項:					

備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	11月8日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
実施日	11月8日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	粃摺り					
課題:	もみ殻はどうやってとるのか?					
目的:	玄米にする。					
内容:	●種粃から粃殻を取る					
要領:						
準備:	●篠宮さんから譲り受けた粃摺り機					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分		
	実施内容:					
	2班に分けて実施。					
						
	留意事項:					
						
備考:						

野川で遊ぶまちづくりの会

プログラムマニュアル						
プログラム名称:	田んぼの学校					
実施予定日	11月23日	月	開始時刻	8時30分	終了時刻	15時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	収穫祭(餅つき、豚汁)					
課題:	お米を作ったのは誰?					
目的:	お米作りを通して、人と自然の役割を考える。					
内容:	収穫したもち米を搗いて食べ、収穫を祝う。					
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					
	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----					
実施記録:	留意事項:					
	----- ----- ----- -----					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	12月6日	日	開始時刻	9時00分	終了時刻	16時00分
実施日	12月20日	日	開始時刻	9時00分	終了時刻	15時00分
作業:	親子炭焼きディキャンプ					
課題:	雑木林の役割を考える。里山の雑木林はどのようなものか？					
目的:	◎炭焼きの実践を花炭焼きで体験し、雑木林の役割を考える。 ◎火起こし体験					
内容:	里山の恵みに触れる体験を行う。					
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:森田、太田、中原、東狐、忍足、竹井、多田、石崎、玉山、渡井、山本、一條、張、長橋、中野、高橋、渡辺、今田、四方田、近藤、尾辻					
	開始時刻	9時00分			終了時刻	15時00分
	実施内容:					
	敷物を家族単位で間をあけて敷いて、密にならないようにして実施。					
						
						
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	12月20日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
実施日	12月13日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
作業:	落ち葉拾い(堆肥作り)					
課題:	雑木林って何?					
目的:	雑木林の役割を考える。					
内容:	カニ山で落ち葉を集め、堆肥置き場に積む。その時、米糠と鶏糞を混ぜ、水を十分にかき、シートをかぶせる。					
要領:						
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分		
	実施内容:					
	密にならないように気を付けて実施。					
						
						
	留意					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	1月10日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	12時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	堆肥切り返し					
課題:	土づくりは農業の基本。人類がどのように土を作ってきたかを学ぶ。					
目的:	堆肥発酵促進					
内容:	堆肥を移動することで、堆肥の切り返しを行う。					
要領:	<ul style="list-style-type: none"> ●堆肥を堆肥置き場の空いているところへ移動する。その際、積んであった堆肥が天地が逆になるようにする。 ●水分が足りないようであれば、バケツで水をかける。 ●必要であれば、鶏糞、米糠などを補充する。 					
準備:						
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					

留意事項:	-----					

備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	2月7日	日	開始時刻	13時00分	終了時刻	15時00分
実施日	中止	中止	開始時刻		終了時刻	
作業:	縄織い、草鞋づくり					
課題:	昔の人は稲藁でさまざまな生活に必要なものを作ってきました。そのひとつが縄です。					
目的:	稲藁を使って縄を織うことを通して先人の知恵を学ぶ。					
内容:	稲藁を使った縄織い。					
要領:						
準備:	佐須ふれあいの家を使用					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					
					
					
留意事項:					
					
					
					
備考:						

プログラムマニュアル						
プログラム名称:		田んぼの学校				
実施予定日	3月7日	日	開始時刻	10時00分	終了時刻	13時00分
実施日	3月28日	日	開始時刻		終了時刻	
作業:	「田んぼの学校」卒業式(反省会)					
課題:	米つくりを終えて					
目的:	この1年で考えたこと、学んだことを確認する。					
内容:	●軽食を取りながら行う。●●					
要領:						
準備:	佐須ふれあいの家を使用					
用具:						
服装・装備:						
担当者:						
実施記録:	指導担当者名:					
	参加者名:					
	開始時刻		終了時刻			
	実施内容:					
						
						
備考:						

3. 會計報告

2020年度収支決算

	科目	コード	金額	備考
収入の部	前期繰越金	1000	121,507	
	受講料	1110	348,000	
	事業収入	1120	0	柏野夏祭り模擬店収益等
	会費	1210	14,000	
	寄付	1310	12,000	
	預かり金	1320	40,000	米代他
	立替入金	1330	0	
収入の部合計			535,507	
支出の部	消耗品費	2110	107,551	
	通信費	2120	2,590	
	材料費	2130	3,359	種など
	交際費	2140	31,720	
	会議費	2150	33,523	
	教材費	2160	10,454	
	講師料	2170	149,000	
	講師補助費	2171	94,000	
	保険料	2180	1,980	
	燃料費	2190	10,774	
	印刷費	2200	0	
	修理費	2210	0	
	光熱水費	2220	10,000	
	賃貸料	2230	14,300	ふれあいの家
	交通費	2240	0	
	広報費	2250	20,000	インターネットサーバ他
	作業報酬	2260	0	
	研修費	2270	1,980	
	預かり金支出	2310	40,000	米代
	立替金	2320	0	
	手数料	2330	0	
	参加会費	2340	1,000	
	事業費	2350	2,064	
支出の部合計			534,295	
収支差額			1,212	

4. おたより

田んぼからのおたより2020

第1号 2020年4月19日発行

みなさん、お元気ですか。今年は新型コロナウイルスの感染拡大により開校式ができない様な状況でのスタートとなりました。現状では、感染を防ぐためにそれぞれが接触しないことで感染を防ぐことが求められています。そんな中、いよいよ「田んぼの学校」が始まりました。この「おたより」はこれから「田んぼの学校」とみなさんとのお互いの架け橋として創られます。内容は、「田んぼの学校」からのお知らせや、みなさんからのご意見などです。「田んぼの学校」についてわからないことがありましたら、お知らせください。私たち「田んぼの学校」のスタッフも20年目になりました。気がついたこと、いたらないことがありましたら教えてください。わからないことも質問してください。

体験をより充実させる為に

さて、「田んぼの学校」では、みなさんが田んぼでやったこと、見たこと、感じたことを記録することをお勧めします。ノートか野帳（野外観察用のフィールドノート）を用意し、思い思いに記録してください。できましたら、写真も有るといいと思います。その日にあったこと、学んだことをお子さんと一緒に振り返ることで、体験がより充実したものになります。

種はつながっている

お米の起源は約15、000年前、インドもしくは中国雲南で始まったそうです。お米も最初は野生のもので、昔の人は野生の種をまいて育てたようです。そのうちに、まいて育てた稲から種をとるようになり、その種を持って東へ移り住み、または、東の地方にいる人に伝えられ、2、000から3、000年前に日本に伝わったといわれていましたが、それより以前、6、000年前の縄文時代に稲作の痕跡が見つかっています。

お手元にある種籾は、そのときの種とつながっています。品種改良はされていても、遺伝子という形でつながっているのです。

人間を含む多くの動物（昆虫など）もお米よりもさらにさかのぼる年月にわたってつながっています。機会があるようでしたら、自分たちのルーツをわかる範囲で追いかけてみてはいかがでしょうか。

つながらない種

科学が発達して、いろいろなことができるようになりました。その中でも重要なもののひとつに遺伝子に関する技術や発見があります。遺伝子組み換えは、はるか昔からつながっているお米の種に、つながらないものができるということを意味しています。大変難しい問題ですが、一度考えてみる必要があります。

種子法廃止

一昨年、種子法の廃止する法案が決まり、一昨年の4月1日に廃止となりました。農作

物などの種子に関する問題も含めて、この廃止により、大きな影響が出ることは必至です。ネットなどに色々な情報があります。どのような問題があるのか、ぜひ確認してみてください。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

.....

4月19日(日)の学習 内容「種籾(たねもみ)の準備」 場所「自宅」

昔から、お米の豊作を願わないものはいませんでした。その最初の仕事が種籾の選別です。中身の詰まった重い種籾が丈夫な稲に育つことを昔の人は経験的に知っていました。

ではどのようにして重い種籾と軽い種籾を区別したのでしょうか。昔の人は、泥水に種籾をつけて沈んだ種籾を使っていました。浮いた種籾は軽くて悪い種籾として選別していたのです。

今は、塩水を使います。食塩水に種籾をつけると重くて良い種籾は沈み、軽くて栄養分の少ない種籾は浮きます。これを「塩水選」といいます。真水では沈む種籾も食塩水では浮くのはなぜでしょうか。おとうさん、おかあさん、子どもといっしょに考えましょう。

それでは、郵送した種籾(もち米で銘柄はマンゲツモチ)で塩水選をやってみましょう。

1. 準備

鍋やボールなど適当な入れ物を用意して下さい。

2. 食塩水

真水(水道水でも可)200ccに塩16gを溶かして下さい。この食塩水の比重は約1.08です。もち米はこの食塩水で塩水選をします。かなりしょっぱい食塩水です。



3. 塩水選

この食塩水に種籾をつけてください。

種籾全体をこの塩水につけ、ここで、沈んだ種籾が良い種籾です。浮いた種籾と沈んだ種籾を別にしてとりだし、それぞれ水で洗ってください。(塩分がついたままでは発芽に悪い)

水の表面張力で浮いている場合がありますので、注意してください。

4. 芽だし

次に、発芽を促すために種籾を新鮮な十分な量の水に浸けておきます。選別した種籾の両方を同じように別々に水につけてみてください。15℃の水で、約1週間つけると発芽します。20℃なら5日くらいになります。水の温度が高いと早く発芽します。4月26(日)が種まきの予定なので、19日くらいからこの作業に入ってください。26日より前に芽が出たら(芽と根が1mm位になったら)、水を切って当日まで冷蔵庫に入れておいてください。低温にすることで発芽の成長が一時的に止まります。くれぐれも芽や根を伸ばしすぎて、モヤシのようにしないようにしてください。

芽出しに使う容器は大き目なものにし、水をたっぷり入れてください。

以上



いよいよ、田んぼでの作業がはじまります。たいへん残念ですが、新型コロナウイルス感染拡大により、みなさんと一緒に作業することは当面できません。いつもであれば、田んぼでは、たくさんの生き物たちがみなさんをむかえてくれます。いろいろな草花、虫、鳥などです。今の事態ができる限り早く解決されることを祈ります。

わからないことがある場合は、遠慮なくお問い合わせ（尾辻 080-5012-5327）ください。

私たちの田んぼは佐須の用水に依存しています。現在も水利組合によって私たちの使っている用水の支流は田んぼで水を使う時期に泥さらいを行っています。本流は残念ながら、手つかずの状態です。30年前、佐須用水の貴重な環境に注目した私たちは、ゴミが大量に捨てられている用水路の清掃を兼ねた生き物観察会を始めました。最初の1、2年はトラック1台分位のゴミを回収したこともありましたが、いまではその10分の1くらい(リヤカー一台分)まで減っています。それでも、毎年ゴミが回収される状況が続いています。昔は、用水で洗い物などを行っていることもあり、ゴミを捨てるようなことはなかったと思いますが、今では、用水に依存することがない人が多く住むようになって、その大切さが意識されていません。私たちの活動で、用水の貴重さが理解されることを期待しています。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

.....

4月25日（土）の学習（10：00～16：00）苗床作り、畦草刈り

内容： 種をまいて苗を育てる苗床を作る。畦の草刈りをします。

場所： 田んぼ

持ち物その他： 作業着、軍手

今回はスタッフで作業を行います。

苗床作り

苗床（なえとこ）は種籾をまいて稲の苗を育てるところです。発芽した種籾はここで丈夫な苗として育ちます。

1. 田んぼに1m幅、4m長の広さで苗床用の場所を東西方向に2本分確保し、草を刈り取ります。
2. 耕運機でできるだけ細かく耕します。
3. 育苗箱に田んぼの土を細かく砕いて、ふるいにかけていれます。
4. もち米用とうるち米用の育苗箱を2列ずつ並べて1m幅の短冊状に置きます。高さは周囲と同じ高さにします。
5. 両脇に10cmくらいの深さで水路をつけ、用水の引き込み口から水路をつなげて水を引き込めるようにします。

畦草刈り

農家の人にとって雑草（正確にはいろいろな野草というべき）は天敵と考えられています。雑草は、作物の栄養分を取ってしまったり、成長を妨げたりするからです。雑草取りは農家の人にとっては大変な重労働なので、除草剤などが使われたりしますが、有機農法では除草剤は使いません。最近では、雑草を味方にする研究なども行われています。いずれにしても、まわりの畑に雑草の種が撒き散らされることも有るので、雑草をそのままにすることはできません。

1. 小さい草刈りガマで畦（あぜ）の草刈りをします。
2. 刈り取った草は適当な場所に積み上げておきます。後日、荒起こしのときに田んぼに漉き込みます。このように刈り取った草は緑肥と呼ばれ、立派な有機肥料です。漉き込まれた草は土の中で腐敗して肥料になるからです。

田んぼからのおたより2020

第3号 2020年4月26日発行

田んぼの作業では、丈夫な苗を作ることが重要です。今回は苗床を完成させて、準備した種籾をまきます。種蒔きも、今回はスタッフが行います。お渡しした種籾の芽出しが終わったものは、26日の10時から12時の間に田んぼに持ってきてください。持ってこれない場合、自分で苗を育てるのもありますが、具体的な指導はできませんので、ネットで調べてチャレンジしてください。

作業の様子は、フェースブックの見るようにしますので、ぜひ、ご覧ください。

畑の広さの単位

田んぼの広さの単位についてちょっと調べてみました。私たちの田んぼは、3畝（せ）あります。約100坪（つぼ）。坪は畳2枚（3.3平方m）です。

1畝（約99平方m）、10畝で1反（たん、約991平方m）、10反で1町（ちょう、約9917平方m）です。

1畝は約1アール、100アールで1ヘクタールなので、1町が約1ヘクタールになります。

豊臣秀吉は、太閤検地と呼ばれる田畑の全国測量を行いました。そのとき、度量衡の統一も行われました。そのときに、1反360歩を300歩にしました。1畝30歩となり、1アールにきわめて近い値になりました。秀吉（実際に指揮したのは石田三成）は1アールという単位を知っていたものと思いましたが、調べた範囲ではそれらしい記述が見つかりません。反あたりの税収を上げるために300歩にしたという記述がありましたが、どうでしょうか。みなさんも調べてみませんか。

苗づくり

私たちの田んぼでは、田んぼの中に苗床を作ります。温室などで苗を作らない場合、平均気温が20度以上にならないと成長に影響があります。昨年あたりから温暖化の影響で暖かい日が多いので、苗の成長が順調に進みそうです。

お米を生産する農家では、機械植えが普通なので、苗は温室で育てられ、5月初旬（関東）には田植えが行われます。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。



一昨年の種蒔きの様子

.....

4月26日(日)の学習(13:00~15:00)種蒔き

内容： 種蒔き
場所： 田んぼ
持ち物その他： 作業着、軍手、飲み物

今回は、スタッフが作業を行います。

苗床作り

前日の続き

種蒔き

みなさんに準備していただいた種籾(もち米)と当会が準備した種籾を苗床に蒔きます。蒔き方はいろいろありますが、ちょうど良く蒔く(?)のがいちばん。

1. 苗床をもち米用(南側)、うるち米用(北側)にわけます。
2. 用意した種籾を厚すぎず、薄すぎず、ちょうど良く蒔きます。
3. 各自準備した種籾も、蒔きます。
4. 蒔いた種籾の上に薄く(3から5mmくらい)細かい土をかけます。(覆土・ふくど)
5. 板などを使ってある程度土を固めます。(鎮圧・ちんあつ)
6. 苗床全体にかまぼこ状にネット(寒冷紗・かんれいしゃ)をかけます。(防鳥)
7. 水路に水を引き込みます。水はかれない程度に苗床の周囲に回るようにします。



一昨年の蒔き終わった苗床の様子

田んぼからのおたより2020

第4号 2020年5月10日発行

みなさん、お元気ですか。私たちの田んぼの最大の問題は水です。調布市は私たちの田んぼがある深大寺・佐須地域について里山の風景を残すために都市農業を応援する事業を実施しました。その中に、佐須用水の流量確保のための事業があり、井戸が掘られて、水が少ない場合に井戸からくみ上げることが出来るようになりました。田んぼを続けるために長年の、最大の懸案が解決し、一安心です。

柏野小学校裏のホテル園コーポ前の田んぼは毎年草がいっぱいです。私たちの田んぼも草でいっぱいでした。草が生えないということは、そこには草の種がまったくとっていいほどないということを意味しています。それでも草の種は飛んできたり、動物が運んだりして芽を出し、成長して、やがて種を落としますが、その前に草を取ることで次の世代を作らなければ草のない畑になります。除草剤の助けがなければ、大変な仕事です。雑草が全く生えない田んぼはちょっと気になります。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

4月25日の田んぼ

苗床作り



5月5日田んぼの様子



.....

5月10日(日) 10:00~12:00 の学習

内容 ◎堆肥入れ◎畦草刈り◎畑草取り◎荒起こし◎くろつけ準備

場所 「田んぼ」

持ち物、服装 帽子、子どもの着替え、飲み物、軍手(できたら子どもも)

今回の授業は新型コロナウイルス感染防止対応のため、スタッフで行います。

堆肥入れ

堆肥置き場から堆肥を田んぼに運び漉き込みます。堆肥としてはできるだけ十分に発酵したものを使いますが、そうでなくても、土の中で更に分解されて肥料となります。

1. 堆肥をリヤカーで4, 5杯分田んぼに運んできます。
2. 堆肥を田んぼ一面にまんべんなく撒きます。
3. 小枝などの硬いものは分解されにくいので取り除きます。

畑と畦の草刈り

くろつけを行うために、畦の草を刈り取ります。畑の草取りも一緒に行います。

荒起こし

田んぼ全体を耕運機で荒く耕し、堆肥を土に漉き込みます。

くろつけ準備

畦の整理(昨年くろつけで盛った土を削ったり、崩れている部分を補修)を行ない、畦にそって水路の水を引き込み、くろつけの準備をします。

田んぼからのおたより2020

第5号 2020年6月7日発行

みなさん、お元気ですか。

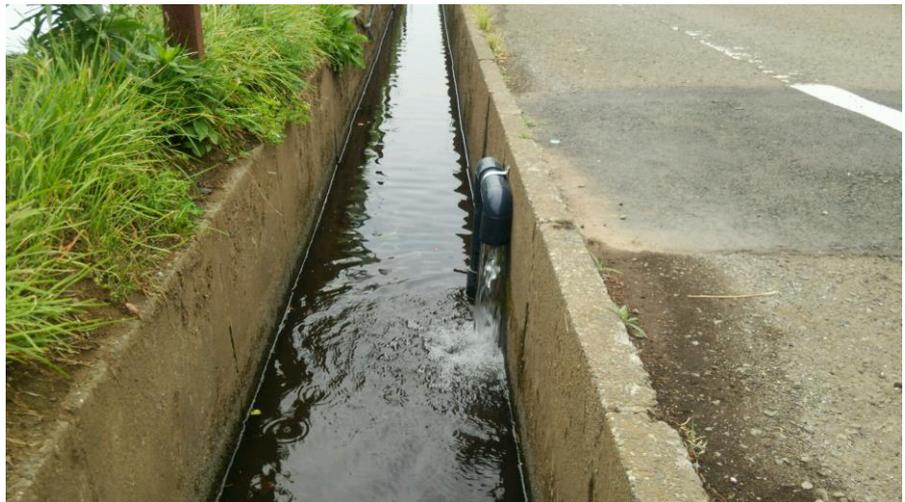
田植えの時期に気になるのが、用水量です。調布市は、佐須・深大寺地域の風景を維持するための事業の中で田んぼの水を確保するために井戸を掘りました。

個人的なことになりますが、田んぼをはじめてから生活の中で一番変わったことが、雨を単純に毛嫌いすることがなくなったことです。それまでは、雨になると外出が億劫になったりしたのですが、結構雨を楽しめるように変わったのです。現金なものですが、雨が大切な作物の生育に欠かせないものであり、生き物にとってなくてはならない水を供給する循環の一翼を担っている点で改めてその機能を見直したいです。

みなさんも、雨を見直してみませんか、そして楽しんでみませんか？

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

井戸の水です。



日本人の技術にはほんとにびっくり

くろつけは、長い間人の手仕事としてやってきましたが、こんなものまで作るのかという画像がこちらです。なんと、くろつけを機械でやってしまいます。

ユーチューブでぜひご覧ください。

URL <https://www.youtube.com/watch?v=ykSV1JCLEYY>

6月7日（日）（10：00～15：00）の学習

内容「くろつけ」 場所「田んぼ」

服装 どんこになってもいい服装にしてください。子供は着替えを持ってきてください。
足で泥をこねたりしますので、長靴ではできません。基本的には裸足、地下足袋、
靴下でやります。

持ち物 飲料水、タオル、着替え、昼食

くろつけ

－「くろ」とは畦（あぜ）のことです。「くろつけ」は畦から水が漏れないようにするための作業です。泥をこねて、畦に泥を塗りつけて、表面を滑らかにします。土だけではたくさんの小さな穴が空いているので、水が漏れてしまいます。土を泥状にすることで、土の粒の間のすきまがなくなり、水が漏れにくくなります。写真はくろつけの様子です。

1. 畦にそって引き込まれた水と田んぼの土をまぜて泥をこねる。泥は畦の天上部と内側に壁塗りをするように塗り付けるのにちょうどよい硬さにするのが早く仕上げるコツである。
2. くろつけは水の引き入れ口からみて一番奥の部分から仕上げていく。
3. くろつけが終わったら、畦が乾かないように水路をつけて水を引き込んでおく。
4. 田んぼの内部にも水が入るように水路をつける。
5. 水路に水がなくならないように引き入れ口を調節する。



田んぼからのおたより2020

第6号 2020年6月13日発行

みなさん、お元気ですか。いよいよ田植えです。今年は冬の間にも雨がたくさん降ったおかげで、水は十分です。

これまで、私たちの田んぼではいくどか水不足はありましたが、ほとんど何とか耐えました。水争いは昔から命がけのものだったようです。「我田引水」という言葉がありますが、他人のことを考えず、自分に都合が良いように考えたり、ものごとを行ったりすることという意味があります。このような言葉が残って使われるほど、他の田んぼのことを考えずに自分の田んぼにだけ水を引くことが実際にあったということでしょう。農業用水のほとんどは、上流から順に取水されるため、下流の農家は不利になります。お米が年貢として納められていたことを考えると、仕方がないことのようにも思えますが、いかがでしょうか。

今週の土曜日には、しろかき、日曜日には田植えを行います。今週中には関東は梅雨入りということですが、土曜日、日曜日の天気予報は雨の予報もあり、微妙ですが、小雨決行です。

今年のくろつけ



昨年の苗取りの様子



6月13日(土)(10:00~15:00)の学習

内容「しろかき」「苗取り」 **場所**「田んぼ」 **服装**「かなり汚れてもいい作業着」
足元「はだしか地下足袋、またはくつした」 **持ち物** 子供の着替え、タオル、昼食、水筒

しろかき

田んぼに水を引き、土と混ぜて、どろどろ状態にし、平らにして田植えの準備をすることを言います。大半に作業は耕耘機でやりますが、平らにならすのは人でなければできない仕事で、けっこう重労働です。

苗取り

苗床から元気に育った苗を取ります。乾いた土の状態ですと方法と、水を引いて土を洗いながらとる方法があります。今回はしろかきと同時なので水を引いて苗を取ります。

苗はもち米とうるち米と混ざらないように、もち米を取ってから、うるちを取ります。取った苗は、一握りの大きさにして稲藁で結わえ、コンテナに入れて、水路につけておきます。

6月14日(日)(10:00~12:00)の学習

内容「田植え」 **場所**「田んぼ」 **服装**「かなり汚れてもいい作業着」
足元「はだしか地下足袋、またはくつした」 **持ち物** 子供の着替え、タオル、水筒

田植え

お米の苗をしろかきの終わった田んぼに植え付けます。田んぼの南側から植え付けていきます。最初にもち米(全体の約半分)、次にうるち米を植え付けます。

1. 25cm間隔で目印のついた紐を用意して、東西方向に張る。(両端を人が持つ)
2. 苗を植える人は一握りの苗を持って、紐の北側に南を向いて適当な間隔で並びます。
3. 一度に植える苗は2、3本くらいで、大きな苗を植えるようにします。
4. 合図があったら、自分の持ち分に植え付ける。植え付ける場所は、紐の手前側に、目印のあるところ。
5. 自分の分が終わったら、一步下がって、これから植え付けるところを手でならす。
6. 全員が終わったら、紐を20cm北側に移動する。
7. 以上を繰り返していく。

田んぼからのおたより2020

第7号 2020年7月05日発行

みなさん、お元気ですか。

今年は普通の梅雨という感じがします。ただ、この1年の雨量がかなり多いため、用水の量はかなり豊富です。これまで、わいてきたことがないところからも湧水が出て、畑が水浸しになっています。田んぼでは、このところ一大勢力となっていたコナギがわずかに見かける程度で、ちよっと安心しています。昨年一生懸命捕ったおかげか？

さて、田んぼの生き物たちはどうなっているのでしょうか。ハイイロゲンゴロウもミズムシも来ています。アマガエルのオタマジャクシもたくさん泳いでいます。いつものようにたくさんの生き物がいるといいですね。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

田植えの様子



花をつけたコナギ

.....
7月5日（日）（10：00～12：00）の学習

内容「畑の草取り」「草取り、根搔き」「畦草刈り」「生き物観察」

場所「田んぼ」

服装 田んぼに入って作業のできる服装できてください。草取りは大人だけで行います。

持ち物 タオル、軍手、蚊取り線香（携帯用）、飲み物

草取り（一番草）

この時期に行う草取りを一番草といいます。私たちの田んぼは、これまであまり草取りの必要がありませんでしたが、コナギがだいぶ目立つようになりました。生き物観察の後、草取りをします。

根搔き

根搔きと言う作業は、稲の根の回りの泥をかき回して空気を送ったり、根を切ることで、根の生育を促進する目的があります。昔は、草取りと根搔きを両方を行う道具がありました。

根搔きの作業も私たちの田んぼでは、やっていません。根搔きはやったほうが良いという意見と、必要がないという意見があり、必ずしもどちらが良いとは言いきれないようです。

生き物観察

田んぼに水が入ると、田んぼには劇的な変化が現れます。石川先生をお招きし、その様子を観察します。

田んぼからのおたより2020

第8号 2020年8月30日発行

みなさん、お元気ですか。今年は種まきしてから7月に入り雨の日が続き、生育が心配されました。しかし、現状を見るとほぼ例年通りではないかと思えます。近年、これまでにない気象が起こるようになり、その時期が生育に大きな影響を与えることが起こるかもしれません。

さて、毎年案山子でスズメの被害を防ぐ対策をしています。10年ほど前からスズメ被害が拡大し、収穫が減るという大変な事態になりました。その後、毎年スズメの被害を防止するため、網をかけています。今年も早めに防鳥網を張り予定です。

「スズメ対策」の定番といえば、案山子（かかし）です。大いに工夫してスズメの恐がる案山子を作ってください。光ったり、音が出たりするものがあるといいかな？ ことしも創造性豊かな案山子を期待しています。

作る場所については、コロナ禍のため佐須児童館の広場が使えないため、竹内さんの敷地をお借りすることになりましたので、田んぼに集合してください。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。



8月25日の田んぼです。

8月30日（日）

（10：00～12：00、12：00～14：00、14：00～16：00）の学習

内容 「カカシ作り」

場所 田んぼ付近

持参するもの 案山子の材料（垂木以外のもの）、大工道具

田んぼの観察

田んぼの生き物観察については、今回は各自行くこととします。この時期、どんな生き物がいるか、じっくり観察してください。

カカシ（案山子）作り

芸術の秋とも言います。調布のすずめは少し賢いので、みなさんの創意工夫をおおいに期待しています。芸術性を追求するか、実用本位でいくか家族会議で検討してください。一家族で案山子一体作っていただきます。骨格となる部分の垂木は事務局で用意します。案山子に着せる服や、飾り付けなどの材料や大工道具は持参してください。



スズメに食べられた様子



昨年の案山子です。

田んぼからのおたより2020

第9号 2020年9月27日発行

みなさん、お元気ですか。いよいよ稲刈りです。4月26日に種まきをしてからほぼ5ヶ月、6月14日に田植えをしてからほぼ3ヶ月半、今年は苗の成長があまりよくなく、7月の日照不足も気になるころでした。8月、9月は順調に成長しました。ただ、例年の悩みは、直前の雨です。稲が濡れた状態で刈り取れないので、秋雨前線が心配です。

コロナ対策で時間帯別に行きますので、メールを確認してください。

9月20日の田んぼと案山子⇒

調布産の、自分たちの新米を食べるのが今から楽しみです。うるち米は「キヌヒカリ」という品種です。有名なコシヒカリの遺伝子を受け継いでいる品種です。もち米はマンゲツモチという品種です。



← はざかけされた稲

刈り取った稲は「はざかけ」をします。2週間くらいで稲は乾燥し、脱穀できるようになります。十分に乾燥していないと脱穀した粃が発酵してしまうことがあります。

はざかけ(はさかけともいう)の「はさ(稲架)」は刈り取った稲をかけて干すしくみのことです。日本全国にいろいろな形があります。田んぼの畦に木がある光景を見たことがありますか。

あれは、はざかけのために植えられたはんのか(榛の木)です。(カバノキ科の落葉高木。山野の湿地に自生。幹は直立し、15メートルに達する。)湿地に直立してくれるということは、はさの心棒にはもってこいですね。

稲刈りは、刈り取り用のカマを使います。カマの扱いには、十分気をつけてください。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

.....

9月27日（日）（10：00～16：00）の学習（時間帯別になります）

内容「ハザ掛け準備、稲刈り」 場所「田んぼ」

服装 長袖、長ズボンの作業着、軍手

持ち物 飲み物

ハザ掛け準備

はざは、1段掛けのものを南北に4列田んぼ内に設置します。

1. 足場用の垂木3本を1組にして荒縄で組んで3脚にしたものを、合計12組作ります。
2. 1列につき、3組の足場を並べます。
3. 10m前後の竹竿を3本くらい束ねて丈夫な1本の竿にして、足場の上に固定します。
4. 必要に応じて、竿を補強してください。

稲刈り

20日うるち米から刈り取り、後からもち米の刈り取りをします。

1. 稲株を左手で握り、右手の鎌で根元から刈ります。
2. 刈り取った稲は1握り分づつを根元をクロスさせて2握りを1組にしておいていきます。
3. クロスしておかれた稲の束を濡らした稲わら3, 4本（または麻ひも）で根元を結わえます。
4. 結わえられた稲束をクロスしたところで左右に振り分けてはさに掛けていきます。
5. はさかけの周りに鳥除けの網を張ります。

田んぼからのおたより2020

第10号 2020年10月18日発行

みなさん、お元気ですか。今年は昨年ほどではありませんが、雨の多い秋といえるでしょう。今週も晴れが続かず、18日の天候も気になります。幸いにも、台風などの過酷な天候は免れていますが、不安定さは残ります。昨年も、今年も、大雨で、川の堤防が決壊することが続き、ハザードマップの存在がクローズアップされています。堤防の強度が十分と言われていたところも決壊が発生し、これまでの計画を見直さざるを得ない状況です。大きな河川は、国が管理していますが、それだけでは安全と言えないのは、疑問に思わざるを得ません。

今週の授業は脱穀です。脱穀とは、稲から粃を分離させることです。大昔は千把扱き（せんばこき）というもので脱穀していました。鉄片を櫛の歯のように並べ、それへ稲穂をひっかけて、粃（もみ）をしごき落とします。約300年前の元禄年間（1688-1704）に考案されたようですが、いまでも農家の納屋にこれが残っていることがあり、昭和のはじめ頃までは使っていたのではないかと思います。

当会には、足踏み脱穀機（ミノル式）がありましたが、これは、1910年（明治43年）の発明といわれています。千把扱きに比べ8倍の能力があるそうです。脱穀機で落とした粃と藁くずを分別する機械が唐箕（とうみ）です。唐箕の前は、風を利用して箕に入れた粃と藁くずを振って分別していました。脱穀している時は、ほこりがたくさん出ます。ぼうしとマスクを用意してください。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

ハザ掛け



10月18日(日)(10:00~12:00)の学習

内容「脱穀」、場所「田んぼ」

服装「作業着、ぼうし、マスク」

コロナ禍で2グループ交代で行います。

脱穀(だっこく)

稲穂から籾を取ることを脱穀といいます。籾の状態は種と同じで、長期保存する場合は籾の状態で行います。次の年の種にするものは特に種籾といいます。

縄文時代前期(6000年前)には日本で稲作がおこなわれていた遺跡(陸稲米)が見つかっており、弥生時代中期には北海道以外の日本全国で稲作(水稲)がおこなわれるようになったようです。その頃の脱穀はおそらく手か石器でしごき取っていたと思われます。

脱穀は、組合所有の脱穀機を使います。ガソリンエンジンで自走でき、あっという間に脱穀は終わります。

写真は自走式脱穀機



田んぼからのおたより2020

第11号 2020年11月8日発行

みなさん、お元気ですか。今年は、7月は雨が続き、8月は暑い日が続き、終わってみれば、何とか収穫はいつもより多いかなという感じでした。

今週は、籾摺りです。籾摺りは籾の外皮を取り除く作業です。江戸時代には土臼などが使われたようですが、現在はゴムロール式と衝撃式といういずれもゴムを使ったものになっています。

今年は、近くの農家の方から譲っていただいた籾摺機を使い、籾摺りを行います。

籾摺りによって籾殻(外皮)がとれた米を「玄米」といいます。最近、この「玄米」を食べる人が増えてきました。これは、普通みなさんが食べている「白米」にくらべてビタミンB群、E、リノール酸、ミネラルなどの栄養価の高い成分が多く含まれていることや、便秘に効くということがあるためです。ただ、炊き方がややめんどります。それでも、最近の炊飯器は優れたものが多いです。玄米も柔らかく炊けます。

脱穀の様子



脱穀機による脱穀



11月8日(日)(10:00~12:00)の学習

内容「籾摺り」 場所「田んぼ」

持ち物 すり鉢、軟式野球ボール(ゴムボール)

今回の学習は、作業がありません。籾摺りの原理を説明し、籾摺り機の作業を見学し、すり鉢による籾摺り体験をしていただきます。

籾摺り

脱穀で稲わらから取った稲の実を籾といいます。籾は種の状態、外皮に守られていますので、長期に保存が出来ます。籾から外皮(籾殻)を取り除いて「玄米」にする作業が籾摺りです。この言葉は文字どおり籾を擦りあわせることが語源になっています。籾殻は結構頑丈に出来ていて、つめを立てないと取れません。どうすればこの外皮をうまくとれるのでしょうか？みなさん、考えてみてください。持ってくる方が出来る方はすり鉢とゴムの野球ボールをお持ちください。答えは田んぼで。

田んぼからのおたより2020

第12号 2020年11月15日発行

みなさん、お元気ですか。今年は、7月の長梅雨にもめげず、8月の晴れが続いたおかげで例年より少し収穫が増えました。うるち米が約70Kg、もち米が約48Kgでした。

今週は、精米です。精米とは、「玄米」を削って白米にする作業になります。みなさんは、普通に白米を食べていると思いますが、「玄米」の胚芽を含む表層部を削り取ったものが白米です。

粳摺りによって粳殻(外皮)がとれた米を「玄米」といいます。最近は、この「玄米」を食べる人が増えてきました。これは、普通みなさんが食べている「白米」にくらべてビタミンB群、E、リノール酸、ミネラルなどの栄養価の高い成分が多く含まれていることや、便秘に効くということがあるためです。ただ、炊き方がややめんどろです。それでも、最近の炊飯器は優れたものが多いです。玄米も柔らかく炊けます。

「玄米」と「白米」の中間に「胚芽米(はいがまい)」、「発芽玄米」というのがあります。以前から「白米」を10分として、ぬか部分の削り具合によって3分・5分・7分搗きというお米がありました。「胚芽米」は特に重要な「胚芽」(発芽する部分)を残すようにしたものを言うようです。「玄米」の表面には消化されにくい米ぬか層があり、「胚芽」を含めてこれを全部削り取ったものが「白米」になるわけです。「胚芽米」にもその削り加減で3分・5分・7分搗きなどがあります。「胚芽米」は米ぬかに含まれている前記の栄養があるうえ、「白米」と同じ様に炊くことが出来、消化吸収もいいということで、人気があるようです。

「発芽胚芽米」というのを聞いたことがありますか。「胚芽米」を研いだ後、40度くらいのぬるま湯に2時間ほどつけると、胚芽部分が膨らみます。詳しいことはわかりませんが、ぬるま湯につけることで発芽が進むようです。その後、普通に炊くと出来上がります。「胚芽米」と「発芽胚芽米」のどちらがおいしいか、どちらがより栄養価が高いかはよくわかりません。

最近、金芽米というお米が出回るようになりました。胚芽米よりの栄養価を残し、白米のおいしさを持つと言われます。日本人のこの飽くなき探究心と技術にはほんとに感心します。皆さんもネットでおいしいお米を探してみて、ぜひ食べて、結果を教えてください。みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

脱穀機による脱穀



.....
11月15日（日）（10：00～12：00）の学習

内容「精米」 場所「田んぼ」

持ち物 特になし

今回の学習は、作業がありません。精米の原理を説明し、精米機の作業を見学していただきます。

精米

粳摺りが終わった状態のお米が玄米と呼ばれます。玄米から胚芽米や白米にすることを「精米」といいます。もち米はぬかを全部取り、「白米」にします。うるち米はほぼ玄米にちかい状態を目標に精米します。玄米を精米機にかけるだけなので、見学となります。

田んぼからのおたより2020

第13号 2020年11月23日発行

みなさん、お元気ですか。天候に振り回されましたが、稲刈り、脱穀も終了、粃摺り、精米も終わりました。いよいよ収穫祭です。

さて、私たちの作ったうるち米は関東で比較的多く栽培されている「きぬひかり」という銘柄です。コシヒカリの血統を受け継ぎ、炊きあがりの絹のような色つや、そして食味も好評ということ。お米の味は、新米の精米直後がよりおいしく味わえます。また、炊き方によっても味が変わってくるので、おいしく食べるには細心の注意を払ってください。おいしく炊くコツの一つはお米を研いだ後の「浸けおき」です。20度の水温の水で1時間つけると最適です。何かと忙しいおりですが、段取りを付けて、1時間浸けおきをやってみてください。

収穫祭のお知らせ

収穫祭は、作物の収穫を祝って行うお祭りです。毎年11月23日の勤労感謝の日に行ってききましたが、それなりに意味があります。この日は、「新嘗祭（にいなめさい）」が行われている日に当たります。「新嘗祭」は「しんじょうさい」ともいい、「新」は新穀を「嘗」はご馳走を意味します。毎年この日に全国の神社で行われ、新穀を得たことを神さまに感謝する新嘗祭は、五穀の豊穰を祈願した2月17日の祈年祭と対する関係にあるお祭りです。新嘗祭の起源は古く、『古事記』にも天照大御神が新嘗祭を行ったことが記されています。私たちの会では、収穫をもたらしてくれたすべてのものに感謝の気持ちを表すために収穫祭を行っています。

余談ですが、新天皇が先日行った大嘗祭は、天皇が毎年行う新嘗祭のうち、即位して最初のものを行います。

つきたてのお餅を食べるときの具（おろし醤油、きな粉、あんこなど）をいろいろ用意しておりますが、ご自分の田舎で食べる具でこれはぜひというのがありましたら、みなさんにご披露してください。幼児は無料で参加いただけます。

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。



.....
11月23日(月)(9:00~14:00)の学習(コロナ禍で短縮)

内容「収穫祭」 場所「田んぼ」

持ち物 お椀、お皿、はし、飲み物、包丁、まな板

参加費 大人(中学生以上)400円、子供(小学生)200円(食材費に当てます)
幼児は無料

ご注意 例年、お友達、お知り合いの参加を可としていましたが、コロナ禍で今回はスタッフと受講生だけに限定します。ご了解ください。

収穫祭

田んぼで取れたもち米(約20Kg)で餅つきを行います。最初の一臼は一年の感謝を込めて、竹内さんに献上します。二臼目からはいろいろな具といっしょに皆さんで味わっていただきます。

お餅の他には豚汁、焼き物(干物、焼き芋など)を用意する予定です。

参考までに餅つきの簡単な手順を説明します。

餅つきの手順

1. もち米の浸けおき

もち米は前日に研いで、水に浸けておきます。

2. 湯沸かし

蒸し器用の湯とは別にお湯をたくさん沸かします。洗い物や、臼、杵を温めておいたりするために使います。

3. もち米を蒸す

浸けおきしたもち米はざるで水を切った後、蒸し器に1升(1臼分)ずついれて蒸します。お米の芯が残らないように十分に蒸します。

4. こねる

蒸しあがったもち米は手早く臼に入れ、米粒の形がなくなるまで、杵でこねてすりつぶします。これもできるだけ早くやります。

5. 搗く

十分にこねたら、搗き始めます。臼の中の餅は搗きやすいように相方が手で寄せます。搗き手と相方の呼吸が大事です。また、餅が熱いため、手に水を付けますが、つけすぎると水っぽくなるので、注意が必要です。

搗いた杵がもちから反発力を感じるようになれば搗き上がりです。

6. 粉にまぶす

搗きあがった餅はそのままでは何にでもくっつくので、のし台で米粉や片栗粉でまぶします。

追伸

今年も、とれたお米を希望する方に1Kg400円で販売します。23日に一家族あたりうるち米(白米)1Kg販売します。参加費とは別に準備してください。

田んぼからのおたより2020

第14号 2020年12月13日発行

みなさん、お元気ですか。収穫祭が中止になり、大変残念でした。来年はコロナを克服して収穫が祝えることを祈ります。

土づくり

落ち葉などによる堆肥作りは農業に一番大切な「土づくり」にかかせない作業の一つです。「土づくり」のなかで一つの柱となるのが栄養分でしょう。肥えた土地、痩せた土地という時、栄養分が有るか無いかを示しています。これまで、30年間、無農薬、有機栽培を目標に、毎年田んぼに堆肥を入れてきました。堆肥の原料は、カニ山の落ち葉、収穫したお米を精米した時に取れる米ぬかなどです。堆肥を作る場所は竹内さんの堆肥置き場を共同で使わせていただいています。

落ち葉、米ぬかは、混ぜ合わせて寝かせます。寝かせた落ち葉は菌類などの働きにより発酵します。発酵が順調に進むように適当に天地返し作業をします。完全な有機栽培にはこのような「土づくり」が何より大切です。農業の基本は土づくりといってもいいくらいです。

雑木林

カニ山は、田んぼの用水が湧き出ている谷の雑木林で、昔、たくさん湧き水があって、沢ガニがたくさんいたのでこの名前が付いたようです。コナラ、クヌギといった武蔵野の雑木林を今も残しているところです。雑木林は、堆肥にする落ち葉や薪にするシバ、炭や薪にする材木を取るために、人が入って管理していた自然（二次自然ともいう）の森です。そのため、切り株からまた枝をのぼして大きくなる（萌芽更新という）コナラやクヌギの仲間が残され、木の背丈も10m位に維持されていました。ちょうど薪にしたり、炭焼きにするのにいい太さで切られるためにいつもそのくらいになるわけです。現在、都会にある自然を残すために、雑木林が残されることがありますが、その多くは、人間が手を入れないため、コナラ、クヌギなどが大きくなりすぎて、昔の「武蔵野の雑木林」の面影を残してはけません。カニ山も残念ながら、木が大きくなり過ぎ、人もたくさんはいるので、地面が固くなっています。本来の雑木林は、その地面にたくさん水を含んで貯める保水機能も持っていて、湧き水が枯れない要因にもなっています。

カブト虫の幼虫

カブト虫は、夏に羽化した後、子孫を残すために最適なところに卵を産みます。それは、腐葉土があるところです。田んぼの学校で毎年落ち葉拾いをして、積み上げておくところはカブト虫が卵を産む絶好の場所になっています。カブトムシの幼虫の観察も当日行います。

.....

12月13日(日) 10:00~13:00)の学習

内容 落ち葉拾い

場所 カニ山、田んぼ

持ち物 軍手、長靴

予定

10:00から落ち葉拾い

13:00 解散



カニ山で落ち葉集め

落ち葉を袋に詰めて



堆肥として積み上げる



田んぼからのおたより2020

第15号 2020年12月20日発行

みなさん、お元気ですか。今回はカニ山でキャンプをします。カニ山は、田んぼの用水が湧き出ている谷の雑木林で、昔、たくさんの湧き水があつて、沢ガニがたくさんいたのでこの名前が付いたようです。コナラ、クヌギといった武蔵野の雑木林を今も残しているところです。雑木林は、堆肥にする落ち葉や薪にするシバ、炭や薪にする材木を取るために、人が入って管理していた自然（二次自然ともいう）の森です。そのため、切り株からまた枝をのぼして大きくなる（萌芽更新という）コナラやクヌギの仲間が残され、木の背丈も10m位に維持されていました。ちょうど薪にしたり、炭焼きにするのにいい太さで切られるためにいつもそのくらいになるわけです。現在、都会にある自然を残すために、雑木林が残されることがありますが、その多くは、人間が手を入れないため、コナラ、クヌギなどが大きくなりすぎて、昔の「武蔵野の雑木林」の面影を残してはいません。カニ山も残念ながら、木が大きくなり過ぎ、人もたくさんはいるので、地面が固くなっています。本来の雑木林は、その地面にたくさんの水を含んで貯める保水機能も持っていて、湧き水が枯れない要因にもなっています。

調布市は、私たちの田んぼのある佐須地区において雑木林、畑、田んぼを保全する計画を実施することとなり、里山の保全に一步前進しました。この条例により、柏野小学校東側の農地と北側の田んぼが公有化されました。今後整備計画が決定されることになる予定です。

火起こし体験

都会では、火を使う機会がほとんどなくなり、日常、火に接することがなくなりました。この機会に、子どもに火にふれる体験をして頂きます。保護者の方も、火起こしをしたことがない方がおられるので、ぜひこの機会に体験してみてください。



花炭焼き体験

炭焼きの疑似体験として、花炭を焼きます。炭焼きの原理は同じなので、この機会に、親子で体験してください。



しめ縄作り

お正月に備えて、今年採れた稲わらでしめ縄を作ります。



2015年に作成したしめ縄

みなさんのご意見、お便りをお待ちしています。

.....
12月20日(日)9:00~15:00)の学習

内容 ディキャンプ、火起こし、花炭(炭焼き)、しめ縄作り

場所 カニ山

持ち物 食器(はし、皿、茶碗、お椀、コップ)

空き缶(鉄板でできた茶筒やせんべいの箱などで、しっかりふたができるもの。
炭焼きに使用します)

炭材(炭にしたいもの。マツボックリ、ドングリ、栗、割り箸、花など)

敷物(家族単位で密にならないようにするため)

差し入れ(自由です。おやつや酒の肴など歓迎)

参加費(大人(中学生以上)、小学生 200円、幼児 無料)

(はチェックのためにお使ください。)

その他 駐車場がないので、車での参加はご遠慮下さい。雨天の場合は中止(連絡網にて通知)とします。

スケジュール

9:00	集合	カニ山キャンプ場(かまどがあるところ)。 時間厳守
9:30	授業	火起こし(たき火の火付けの学習)、花炭焼き
10:00	豚汁準備	(スタッフ)
12:00	昼食、懇談、豚汁	
13:00	授業	しめ縄作り
14:30	片付け	
15:00	解散	

田んぼからのおたより2020

第16号 2021年3月14日発行

コロナ禍で考える

今年度は、入学式からコロナ感染の影響を受け、多難なスタートになり、田んぼの学校も大変な運営を強いられました。幸い、スタッフも、おそらくは受講生にも感染された方はいないようで、何よりです。今となつては、今年中のワクチンによる集団感染状況による感染抑止に期待するしかないということでしょうか。

グローバル化による世界経済の繁栄がもろくも崩れ、人の移動が極端に制限されるにいたり、今までの当たり前の経済活動による収益が、業態によってはほぼゼロになるような事態になりました。今回は、緊急避難的にそれぞれの国が借金で経済を支えています、2度目はあり得ません。別のウイルスによる感染症が今後ないとは言えず、これまでとは全く異なる社会の仕組みを考えなければならないことが突き付けられているのです。同時に、地球温暖化による様々な気候変動への対応も待ったなしなのです。

佐須の田んぼが残る

私たちが調布市の佐須でお米づくりを始めて28年が経ちました。平成26年、調布市が、長年の懸案であった佐須にある田んぼなどの里山の景観を残すことができる「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」を策定、当会が切望していた田んぼの保全が現実となったからです。

そして、来年度、取得した農地で「農業公園」の事業化が進められます。現在提案されている調布市の計画にはいくつかの問題があると思ひ、調布市の意見募集に応じて当会としての意見書を提出しました。

米作りで思う事

お米作りを始めて、いろいろなことを学ぶことができ、人が生きるということがどうゆうことなのかをあらためて考える機会となりました。ほとんどの生き物は、命を授かって、体外から生きるために必要なものを取り込んで成長し、それぞれの寿命を迎えて、分解されて自然に還ります。人もサルから進化しながら、何万年という時を経て、今の自分たちがいます。お米も、約1万年前の中国長江流域の湖南省あたりを起源として、3千年前ころには日本に伝来し、急速に広まったとされています。弥生時代と重なる時代で、かつては弥生式土器の発見で弥生時代とされていたものが、水田による稲作の農耕の広まりが弥生時代というようになったようです。今年私たちが作った稲も一万年前に始まった稲にそのルーツがあり、つながっていることに生き物の不思議を感じないわけにはいきません。植物である稲も、種が発芽の条件が満たされると、芽を出し、根を張り、葉を広げ、成長します。稲は、根から様々なものを取り込み、葉に太陽光を受けて、成長して、花をつけ、雄しべは花粉を散らし、雌しべが花粉を受粉して米粒となる次世代に

命をつなぐ種ができます。今のお米は、一粒の種から500粒くらい収穫できるようです。

あらためて思うことは、地球にとって太陽が太古のころから人間のみならずすべての生き物の“元”になっているということです。日本には四季があり、それぞれの地域で太陽の恵みを最大限に利用して作物をつくり、営々と日々を紡いできたことを再認識するこの一年ではなかったでしょうか。

地球規模で起こっているさまざまな環境問題を解決するためには、グローバルな視点とローカルな視点での取り組みが必要です。「田んぼの学校」では、そのローカルな取り組みとして身近な環境である「田んぼ」のある環境を守ることを重要な目的にしています。

「田んぼ」には環境問題を解決するヒントがたくさんあります。「田んぼ」の米作りをとおしてそのいくつかでも気がついていただければと考えています。

宿題

今回の学習には、宿題があります。忘れずに持ってきてください。

宿題は、この12ヶ月間に田んぼで学んだことの振り返り（すでに送付した振り返りシートへ記入）です。この一年、参加した授業をもう一度、家族で振り返ってみてください。おとうさんも、おかあさんも、こどもたちもみんな書いてください。（書けない子どもは、おとうさん、おかあさんが代筆してください。）卒業式で、みなさんで振り返りを共有したいと思います。

卒業式欠席の場合も3月6日までに振り返りシートを提出（メールなど）してください。

出欠席の確認

卒業式の出欠席を3月6日(土)までに尾辻までメールして下さい。

3月14日（日）（13：30～15：30）の学習

内容「卒業式」 場所「調布市市民プラザあくろす あくろすホール（国領駅前）」

持ち物 ふりかえりシート

飲み物（お茶など）

（事務局で田んぼのお米でお赤飯を作ります。）

会場では、会食ができませんので、昼食はあらかじめとってきてください。用意するお赤飯は持ち帰っていただきます。

卒業式次第

1. 開会の辞
1. 校長挨拶
1. 修了証書授与
1. 1年の振り返り
1. 懇談会
1. 閉会の辞

出欠確認のメールをお送りしますので、そのメールに返信してください。3月6日まで必着。

5. 参加者名簿

スタッフ名簿

お名前	会員区分	住所
高橋	スタッフ	調布市佐須町
高橋	スタッフ	調布市佐須町
今江	スタッフ	狛江市
今江	スタッフ	狛江市
入山	スタッフ	調布市布田
忍足	スタッフ	調布市
尾辻	スタッフ	調布市八雲台
尾辻	スタッフ	調布市八雲台
鬼弦	スタッフ	調布市飛田給
金入	スタッフ	調布市柴崎
西山	スタッフ	狛江市西野川
藤川	スタッフ	調布市布田
堀内	スタッフ	多摩市
増川	スタッフ	狛江市和泉本町
松本	スタッフ	調布市富士見町
渡部	スタッフ	調布市上石原
池上	スタッフ	調布市多摩川
長岡	スタッフ	調布市富士見町

受講者名簿

お名前	会員区分	住所
大竹	基礎コース	調布市深大寺南町
柴田	親子コース（継続）	調布市調布ヶ丘
安里	親子コース（継続）	調布市西つつじヶ丘
石塚	親子コース（継続）	調布市菊野台
谷山	親子コース（継続）	調布市下石原
野津山	親子コース（継続）	調布市柴崎
富田	親子コース（継続）	調布市深大寺東町
飯村	親子コース（継続）	調布市深大寺南町
大野	親子コース（継続）	調布市多摩川
安藤	親子コース（継続）	調布市西つつじが丘
滝川	親子コース（継続）	調布市菊野台
金子	親子コース（継続）	調布市西つつじヶ丘
山田	親子コース（継続）	東京都調布市西つつじヶ丘
宮内	親子コース（継続）	調布市深大寺東町
上野	親子コース（継続）	東京都三鷹市新川
原田	親子コース（新規）	調布市佐須町
有本	親子コース（新規）	調布市菊野台
大石	親子コース（新規）	調布市東つつじヶ丘
岡田	親子コース（新規）	調布市小島町
宗田	親子コース（新規）	調布市飛田給
岡崎	親子コース（新規）	調布市西つつじヶ丘
本田	親子コース（新規）	調布市佐須町
高橋	親子コース（新規）	中央区築地
山本	親子コース（新規）	世田谷区給田
安達	親子コース（新規）	調布市国領町

6. 参加者感想文集

授業解説			
授業内容		「田んぼの学校」ふりかえり	
実施予定日		開始時刻	終了時刻
実施日		開始時刻	終了時刻
課題:	1年の活動を終えて		
目的:	この1年で考えたこと、学んだことを確認する。		
内容:	全体についてのふりかえりをしましょう。		
息子 →	参加した感想や、気が付いたことなどを出来ましたら一人ひとり自由にお書きください。		
	<p style="text-align: center;">出席 欠席 (いずれかに○)</p> <p>お米を作るのが大人だ、大人だと思いましたが、田んぼは全てが楽しかったです。かれはひろくは少しづつかれました。いつものお米よりも自分で作ったお米の方がずいとおいしかったです。</p>		
父 →	<p>初めての参加で大変勉強になりました。母の実家は新潟で米農家です。始めは母の子供時代の農家の手伝いの話しを聞きました。昔の米作りは家族総出で、小学校も、ナリ入りの時期は休みにしたと聞きました。現在の米作りは機械化が進んだとはいえ、やはり人手が必要なのは今回の参加を通して、学びました。</p>		
	<p>ふりかえり:</p> <p>今まで経験したことのない状況の中で一年間田んぼの学校を続けて頂いたことに感謝いたします。</p> <p>お米ができるまでどれだけの準備と手間がかかり、土や水、虫や雑草等々、それに天候など、環境の影響をどれほど受けているか、大きな循環の中での大きな恵みに気が付いた一年でした。家族いっしょに田んぼで作業できたことはとても貴重な体験です。ふんでも情報が入る時代に、手足を動かして汗をかいて、土や水の匂いを感じながらお米を育てた経験は子どもの心にも豊かな栄養になったと思います。生植物観察やかかし作り、落ち葉集めにイベントが、季節を感じる事ができました。田んぼでとれたお米は粘り気が少なくあじとして食べやすかったです。子どももとても喜んで食べていました。できることなら来年も参加して今年中止になってしまった授業を受けてみたいですし、そして他の参加者の人たちとも経験や学びをシェアできたらと思います。</p> <p>校長先生、スタッフのみなさん、一年間本当にありがとうございました!!</p>		
母 →	<p>息子 →</p> <p>父 →</p> <p>ふりかえり:</p> <p>母 →</p>		

ふりかえりシート

野川で遊ぶまちづくりの会

授業解説					
授業内容		「田んぼの学校」ふりかえり			
実施予定日		開始時刻		終了時刻	
実施日		開始時刻		終了時刻	
課題:	1年の活動を終えて				
目的:	この1年で考えたこと、学んだことを確認する。				
内容:	全体についてのふりかえりをしましょう。				
ふりかえり:	参加した感想や、気が付いたことなどを出来ましたら一人ひとり自由にお書きください。				
	・田んぼの学校に参加するのは2年目となります。昨年度の経験を思い出しながら、今年度1年を通じて活動したことで(コロナ禍による授業中止は多かったものの)、お米作りの流れは把握することができました。2年続けて参加してよかったです。				
	・1年を通じて参加させていただいたおかげで、お米作りを通じて、季節の移り変わりを感ずることができました。農家さんにとっては当たり前のことかもしれませんが、そんな当たり前のことが自分たちにとっては貴重な経験だと感じます。				
	・親子で参加させていただきましたが、子供よりも親の方が夢中になります。きっと親の方が、自然との触れあいを欲しているんでしょうね。				
	・自分たちで作ったお米は、美味しさもひとしおでした。				
	・この4月に調布を離れてしまうため、参加させていただくのは今年度で最後となりますが、子供がこの2年の経験や、田んぼや自然のなかで感じたことを今後の人生に活かしてくれたら、というのが親の願いでもあります。				

7. 総括報告

「野川で遊ぶまちづくりの会」

代表 尾辻義和

「田んぼの学校」という形で再スタートした、「野川で遊ぶまちづくりの会」の「米つくり」も第20期を終えることになりました。今年度の参加者は基礎講座1組、親子講座24組、スタッフ18名、総勢121名となりました。

田んぼの作業は毎年同じ作業の繰り返しですが、同じようにできる事は減多になく、目が離せません。幸い生育は順調で、玄米にして110Kgほどを収穫しました。

今年度も、参加して頂いた方々には感想を書いて頂きましたが、「田んぼの学校」の趣旨がきちんと伝わっている事にたいへん嬉しく思っています。年々、参加したいという方が口コミで増えており、ほとんどの皆さんが継続して田んぼをやりたいと言っておられ、かといって、新しく応募される方にも加わっていただきたいとも思っているため、耕作面積は何とか増やしたいと今後も行政など関係する方々をお願いする次第です。

今年度も、調布市の事業により、佐須の里山保全に進展があり、この地域で新たな田んぼが購入されることになりました。今後も、行政がこの地域の畑や田んぼを取得するようなことが発生した場合、市民が畑や田んぼを継続して耕作することが望まれます。私たちの「田んぼの学校」事業がそのお役に立てるよう、事業を継続していきたいと考えています。

昨年も要望いたしましたが、多くの市民が集まって行うため、以下のような問題も放置できなくなりつつある状況にありますので、行政に少しでもご配慮いただければ幸いです。

- (1) 手洗いやトイレ（現在は、竹内さんの設備を使用させていただいている）
- (2) 休憩場所（竹内さんの敷地や道路を使用している。特に道路は子どもたちが遊んだりするため、通行する車に迷惑を掛けている）
- (3) 道具類の置き場所（現在は、竹内さんの納屋などを使用させていただいている）
- (4) 農器具が老朽化（耕運機、糶摺り機）して壊れてしまったので、代替えの機械がほしいところであるが、適当なものがない。現在は中古を購入している。

スタッフ不足については、継続して参加している方を中心に順調に増員出来てきています。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染の拡大により運営にも授業の中止など様々な困難がありました。密を防ぐ対策や、グループ分けなどで対策をしていますが、スタッフの負担は増大しました。新年度の事業実施にも影響が出るのが必至です。なんとか、事業ができることを祈念し、皆様のご指導、ご協力をお願いして、総括とさせていただきます。

以上

付録 調査記録

佐須用水路、田んぼ動物確認種報告書

田んぼ植物確認種報告書

田んぼの植物確認記録

種名	確認箇所				
	2013	2014	2015.4/2	2016.3/24	2017.4/5
スズメノテッポウ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ
スズメノカタビラ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ
ナズナ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ
レンゲ	田んぼ	田んぼ	×	田んぼ	田んぼ
コオニタバヒラコ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ
ムシクサ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ
トキワハゼ	田んぼ・畦	田んぼ・畦	田んぼ・畦	田んぼ・畦	田んぼ・畦
セリ	田んぼ・水路	田んぼ・水路	田んぼ・水路	田んぼ・水路	田んぼ・水路
オオイヌノフグリ	畦	畦	畦	畦	畦
オランダミミナグサ	畦	畦	畦	畦	畦
ヒメオドリコソウ	塀際	塀際	塀際	塀際	塀際
ホトケノザ	塀際	塀際	塀際	塀際	塀際
ヘビイチゴ	畦	畦	畦	畦	畦
ノゲシ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	田んぼ
ウシハコベ	塀際	塀際	塀際	塀際	塀際・畦
カタバミ	塀際	塀際	塀際	塀際・畦	塀際・畦
オランダガラシ	水路内	×	水路内	水路内	水路内
ヨモギ	畦	畦	畦	畦	畦
カントウヨメナ	畦	畦	畦	畦	畦
アブラナ科の一種	田んぼ	×	×	畦（ルッコラ	田んぼ
タネツケバナ	×	水路	水路	水路・田	畦
イヌコハコベ	×	畦	畦	畦	田んぼ
ノビル	×	畦	畦	畦	畦
シロザ	×	×	田んぼ	田んぼ	田んぼ
ムラサキサギゴケ	×	×	畦	畦	畦
アメリカフウロ	×	×	×	畦	畦
ナガミヒナゲシ	×	×	×	畦	畦
ハルジオン	×	×	×	田んぼ	×
アカミタンポポ	×	×	×	畦	×
ノボロギク	×	×	×	田んぼ	×
カラスノエンドウ	×	×	×	×	畦
キュウリグサ	×	×	×	×	×
オニノゲシ	×	×	×	×	×
ミドリハコベ	×	×	×	×	×

田んぼの植物確認記録

種名	確認箇所				
	2013	2014	2015.4/2	2016.3/24	2017.4/5
ハハコグサ	×	×	×	×	×
ヨシ	×	×	×	×	×
キツネアザミ	×	×	×	×	×
ヒメジョオン	×	×	×	×	×
ケキツネノボタン	×	×	×	×	×
アメリカオニアザミ	×	×	×	×	×
合計	20	21	23	30	28

田んぼの植物確認記録

種名				備考
	2018	2019	2020	
スズメノテッポウ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	
スズメノカタビラ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	
ナズナ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	
レンゲ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	久々に生育良い。多数
コオニタバコ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	今年は少なめ
ムシクサ	田んぼ	田んぼ	×	探しても見つからない
トキワハゼ	田んぼ・畦	田んぼ・畦	田んぼ・畦	今年は少ない
セリ	田んぼ・水路	田んぼ・水路	田んぼ・水路	
オオイヌノフグリ	畦	畦	畦	
オランダミミナグサ	畦	畦	畦	
ヒメオドリコソウ	塀際	塀際	塀際・畦	
ホトケノザ	塀際	×	×	
ヘビイチゴ	畦	畦	畦	増えている
ノゲシ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	
ウシハコベ	塀際・畦	塀際・畦	塀際・畦	
カタバミ	塀際・畦	塀際・畦	塀際・畦	
オランダガラシ	水路内	水路内	水路内	
ヨモギ	畦	畦	畦	
カントウヨメナ	畦	畦	畦	
アブラナ科の一種	×	×	田んぼ	1株のみ
タネツケバナ	×	×	×	
イヌコハコベ	×	×	×	
ノビル	畦	畦	畦	
シロザ	田んぼ	×	×	
ムラサキサギゴケ	×	×	×	
アメリカフウロ	畦	畦	畦・田んぼ	増えている
ナガミヒナゲシ	畦	畦	畦	
ハルジオン	×	×	×	
アカミタンポポ	×	×	×	
ノボロギク	×	×	×	
カラスノエンドウ	畦	畦	畦	
キュウリグサ	田んぼ	×	×	
オニノゲシ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	増えている
ミドリハコベ	田んぼ	田んぼ	田んぼ	少ない

田んぼの植物確認記録

種名				備考
	2018	2019	2020	
ハハコグサ	×	田んぼ	田んぼ	1株のみ
ヨシ	×	水路	水路	1株のみ
キツネアザミ	×	×	田んぼ	1株のみ
ヒメジョオン	×	×	田んぼ	1株のみ
ケキツネノボタン	×	×	田んぼ	1株のみ
アメリカオニアザミ	×	×	田んぼ	10株以上
合計	27	24	30	

発 行

2021年3月31日

野川で遊ぶまちづくりの会

代表 尾辻 義和

〒182-0016

調布市八雲台2-20-8-201

電話 042-487-4385

Mail otsuji@y.email.ne.jp

URL <http://nogawa-tanbo.sakura.ne.jp/>